

放送日 平成30年6月1日（金）
担当者 農政課 中西 悠太

おはようございます。経済部農政課の中西悠太です。

私は、前職では食品関連の営業を勤めておりました。

入庁してこの2ヵ月間は、補助金申請や総会資料の作成、企画立案等の業務を行っておりました。今まで経験したことのない業務や専門用語が多く、一つ一つ理解し覚えることが多い毎日ですが、上司、先輩職員の方々の親切なご指導のもと、日々業務に取り組んでおります。

今後は庁舎内の業務以外に、外勤時間が増え農家の方々との交流、新規就農支援、鳥獣被害防止総合対策事業や食農教室の開催、六次産業化等支援事業などの業務を控えております。

一つ一つの業務を確実に処理できることを目標として努力していきたいと考えております。

今年、日本ハムのボールパーク誘致が北広島市に決定されました。今後は北広島市の大きな発展に繋がるチャンスであり、それと並行して市役所の職員の高度な対応力も求められることが予想されます。

北広島市民の方々はもとより、北海道内外の方々への市職員の対応力のレベルアップを目指して、努力を続けて参りたいと思いますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年6月4日（月）
担当者 教育総務課 今井 寛元

おはようございます。教育部教育総務課の今井寛元です。私は、3月まで他の自治体に勤めており、この春から北広島市に入庁し、2ヶ月が経ちました。今回は、私が思う、北広島市のまちづくりについて、教育という視点を交えてお話いたします。

皆さんご存知のとおり、北広島市は北広島団地地区や大曲地区など、いくつかの街に分散しており、今後は多極ネットワーク型のまちづくりが課題となっています。一極集中のまちづくりと異なり、各拠点となる地域には小中学校や公共サービスを備えた施設や生活利便施設が必要となり、行政のまちづくりにおけるコーディネート力が重要となります。また、教育はもちろんのこと、福祉やインフラ、環境対策など多分野が横断的に連携をとることが課題となります。

今年度から教育委員会では小中一貫教育を推進しており、多極分散型の都市において小中学校が連携をとり、9年間の一貫した指導計画をとることで、各地域の教育活動がより充実したものとなります。

北海道は他県に比較し人口減少率が高く、また、高齢化率も急速に上昇しており、北広島市においても同様の課題が避けては通れないものとなっています。今後は、小中学校における児童生徒数の減少を見越した、学校施設の在り方について、私自身何ができるのか、教育の視点だけにとどまらず、行政マンとしてまちづくりについて考えていきたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年6月5日(火)
担当者 教育総務課 遠藤 広人

おはようございます。教育総務課の遠藤広人です。4月に入庁し、早2か月が経過いたしました。職場の雰囲気には少しずつ慣れてきたものの、業務そのものに慣れるにはもう少し時間がかかりそうです。

本日は、私が目指す職員像をお話ししようと思います。その前に、みなさんは「2045年問題」というものをご存知でしょうか。この考え方によると、2045年の時点で、人工知能が私たち人間の知能を超えられています。それにより、4割程度の職業が人工知能によって行われるようになると思う学者もいます。さて、私が目指す職員像の話に戻りますが、私は、自分にしかできないことを持っている職員になりたいと思っています。この2か月間を通して、自分の至らなさを改めて感じました。しかし、周りにいらっしゃる上司や先輩のご指導のおかげで、遅くはありますが、少しずつ成長を実感しています。私は、そのように小さな成長を重ねていく中で、自分自身の強みを見つけ、担当する業務で個性を發揮できるような職員を目指していきたいです。先ほど言った「2045年問題」のような出来事が、本当に現実になるのかは分かりませんが、誰でも出来るようなことは、近い将来、人工知能にも出来るようになるかもしれません。そうならないためにも、自分の強みや個性を職場で發揮しながら、誰にも代わりのできないような職員を目指し、一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年6月6日（水）

担当者 消防2課 畠山 智仁

おはようございます。消防署消防2課救助担当の畠山です。

今日は私が勤務終了後に必ず実施していることとお話いたします。それは、勤務中に履いている靴を磨くことです。皆さん、今履いている靴は綺麗に手入れをしていますか。

皆さんが想像する消防士の訓練といえば、高所からロープを垂らし隊員が降下するものや、展張されたロープを渡るもの等が挙げられると思います。消防職員の個人装備品の中に「編み上げ靴」という黒革の作業靴があり、救助訓練を実施する時は必ずこの靴を履いて訓練に臨みます。ですが、私が所属している救助担当は、救助訓練以外でも常に編み上げ靴を履いて勤務しているため、きちんと手入れをしないと汚れが目立ってしまったり、痛んでいる箇所を見落としてしまうなど、大切な個人装備品の劣化を早めてしまうことになります。

私たちは市民の皆さんと接する機会が多いです。以前、「靴が綺麗な人は相手から好印象が得られる」、「靴を見ればその人がどのような人物か分かる」などとテレビで流れていました。接遇や言葉遣いと同じように、身なりもしっかり整え市民の方から、親切で丁寧、さらに清潔感のある職員と思われたいですね。

そのため、靴の手入れは個人的にとっても重要なことだと思い、お話しさせていただきました。綺麗な靴を履くことで自分自身の気持ちを高め、仕事へのモチベーションにも繋がると思います。

今日の私のスピーチを聞いて、靴の状態を気にかけていただける方がいらっしゃれば幸いです。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年6月7日(木)
担当者 消防1課 遠藤 創太

おはようございます。消防1課消防担当の遠藤創太です。

私は今年の4月から新任職員として採用され、現在3ヶ月目を迎えております。資機材各種の取り扱い、災害時の現場活動を想定して行う様々な訓練、火災や交通事故など多種多様な実際の災害出動、また幼稚園・小学校をはじめとする施設での消防訓練の立会いなどの仕事に従事し、沢山の経験を積ませて頂き、少しでも先輩職員に近づけるよう勉強の日々を過ごしております。

これから更に私が1人前の消防士、市職員を目指していく上で大切なものは謙虚な気持ちであると考えます。仕事に慣れ、おごっている消防士に現場に向かう権利はあるでしょうか。市民の方にそれで納得して頂けるでしょうか。市民の方は現場に来る職員を選ばません。何事にも謙虚な姿勢、態度で臨む事で良い市民サービスへと繋がると思っております。先日、現場での活動に完璧はないと先輩から教わりました。そのため現状に満足することなく常に成長を求め努力を継続して行うことを肝に銘じると共に、そう思う初心が今ですから、今の気持ちを忘れる事なく今後も精進していきたいと思っております。

私は災害現場の最前線で人の命を救いたいと思い救急救命士の資格を3月に取得しました。取得した資格を活かし、これから立派な消防士、救急救命士になれるよう1日1日を大切にしながら過ごしていきたいと思っております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年6月8日（金）
担当者 消防2課 上杉 真之介

おはようございます。消防署消防2課の上杉真之介と申します。

新任職員として採用され約2ヶ月が経過しました。緊張と不安だらけのスタートでしたが、今は、同期や職場の方々のご指導の下、少しずつですが勤務にも慣れ、業務に励んでいるところです。

私は、消防業務における知識や技術を身につけることは去ることながら、それらを支える体力や、筋力を維持、向上することが必要不可欠と考え、トレーニングに力を入れて取り組んでいます。災害現場に出動した際に貧弱な体では消火活動や救助活動はできないと感じ、採用される以前から体を鍛えることを始めました。今では、週に4・5回で、1回に1、2時間のトレーニングを継続しており、先輩方とトレーニングを通じて交流できる場面もあります。また、いい筋肉を造るには、食事管理にも気をつけています。三大栄養素のバランスや、食事のタイミング、調理方法にも気遣っています。

災害現場で、自分の身を守り要救助者を救出するには、人の2倍も3倍も体力をつける必要があります。また、防火衣や呼吸器など、様々な携行品をつけ長時間走ったり、複数の消火ホースを持って高所に上がったりと、そういった面でも体力、筋力が必要です。私たち北広島職員は市民の安心、安全を守るために、日々鍛錬しています。さらに、市民の皆さんも私生活の充実のために、筋トレを始めませんか？

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年6月11日（月）

担当者 消防1課 杉淵 陽一

おはようございます。消防1課救助担当の杉淵陽一です。

さて、皆さんは消防士の運動会のような大会が毎年開催されていることをご存知でしょうか。

この大会は全道の消防救助隊員が一堂に会し、日頃鍛え抜いた消防救助技術を披露するとともに、互いの知識、技術を交換することにより、ますます複雑多様化する災害現場に即応できる高度な救助技術と強靱な体力、精神力を養い、研鑽するために、昭和47年から毎年開催され、今年で47回目を迎えます。

競技内容は、ロープやはしごを安全、迅速に登りタイムを競う訓練や、狭い横穴の空間で立ったまま移動することが困難な場所において、酸欠事故などで倒れて動けなくなった人を安全な場所までいかに早く救出するかなど、陸上での人命救助を想定した7種目の訓練と、水難事故で発生する救助事故を想定して、水上における救助活動の安全、迅速性を追求した8種目の水上訓練があります。

それぞれの訓練で、大会実施基準に基づいて安全・確実・迅速性を審判員が評価、採点し、上位の成績を収めた隊員が全国の都道府県から同じように選抜され、毎年8月に主に政令市で行われている全国大会へ出場することができます。

今年は当市から、私を含めた職員4名がロープ応用登はんという、2人1組で協力して高さ15mの位置までロープを上る速さを競う訓練に出場します。

大会会場では訓練技術披露のほかに消防車両の展示や、消防音楽隊による演奏、消火体験、はしご車搭乗体験など、毎年趣向を凝らしたイベントも開催され、一般のお客さんにも楽しんでもらえるような大会となっております。

今年は7月21日に札幌市北区新川に所在する、札幌市消防学校にて開催予定で、私も市の代表として精一杯頑張りますので、ぜひ興味のある方はご家族、ご友人などと一緒にお気軽にお越しいただき応援していただけると嬉しいです。

大会の詳細は、広報誌掲載記事をご覧になるか、消防にお問い合わせいただければいつでもお答えしますので、よろしく願いいたします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張らしましょう。

放送日 平成30年6月12日（火）
担当者 総務課 福嶋 大

おはようございます。総務部総務課の福嶋です。

4月に市役所に入庁し、総務課に配属となり庁舎管理を担当しております。私は民間企業経験者として採用され、前職では信用金庫に9年間勤務し、主に営業を担当しておりました。現在の職場では、聞きなれない言葉や民間との違いを感じながら悪戦苦闘しております。

今日は、私が仕事をするうえで大切だと思うことについてお話しさせていただきたいと思います。

仕事をするうえで、大切なものはなんでしょうか、いろいろあると思いますが、私はその中でも「能力と動機」が大切と考えます。

「能力」には仕事を正確にこなす能力や人と意思疎通を図って協力し合う能力、創意工夫する能力などがありますが、職業人としてこれらの能力を日々高めるよう努力していかなければならないと思います。

それと同時に、動機も大切です。自分自身がどのような目的で仕事をするのか動機が強いほど最後まで仕事をやり遂げることができると思います。また、動機がしっかりしていれば大きな成果をむすぶことができるかもしれません。

私自身この歳になって新入職員として一から仕事を覚えているところではありますが、今までの経験から得たものを活かすとともに、日々勉強しながら自分を高めていきたいと思います。また、常に仕事に対し、目標・目的を持ち職員や市民の方々に信頼される職員になりたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年6月13日（水）

担当者 企画課 橋本 征紀

おはようございます。企画課長の橋本です。

先日、地域の方と意見交換を行う機会がありました。その中の話題で、ある場所に関する過去の経緯・経過といった内容が出され、それが現在まで地域で課題になっていること、また地域においては大切な場所であることの話がありました。

その話題に関しては、これまで幾度か耳にすることもあり、漠然と何かあったのだろうとを感じる程度で、深く調べることもなかったように思います。改めて、過去の経緯を含め、しっかり確認する必要があるとの思いに至ったわけですが、これからのまちづくりを考えると、地域が抱える様々な課題、そこにはこれまでの経過であったり、住む方々の思いであったり、そうした歴史や感情が込められています。それらをしっかり受け止めて、まちづくりを考える必要があります。

地域に思いを巡らせたのか、地域の暮らしを考えたのか、未来を想像したのか、そうしたことを大切にしていきたいと感じる出来事となりました。

本年度、2021年度からスタートする次期総合計画の策定に着手します。この計画は、まちづくりの方向性を示す羅針盤であり、市民が思い描く将来のまちの姿を共有する大切な計画です。

5月30日の庁議で策定方針を決定しました。その中では、将来のまちづくりの中心となる若手職員の考えを計画に反映させるため、ワーキンググループの設置も予定されています。積極的な参加を期待したいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年6月14日(木)
担当者 ボールパーク推進課 柴 清文

おはようございます。ボールパーク推進課長の柴です。

皆様ご存じのとおり、日本ハムファイターズのボールパーク建設候補地として内定をいただいたことを受け、ボールパーク構想の推進に向けた当課が設立されました。

現在の専任は、自分含め3名ではありますが、兼任・併任により、他部署の皆さまにも、ボールパークに関する業務を行っていただいております、体制が強化されたこともあり、現在、構想実現に向けて着実に前へと進んでいます。

市長行政報告によりボールパーク誘致を正式表明したのは、ちょうど2年前の今日、平成28年の6月14日のことでした。

当時はまだ誰も想像できなかった日本ハムファイターズの本拠地移転。

日本全国12個しかないプロ野球1軍の本拠地が、わずか人口6万人弱の小さなまちにやって来ることは、当時まだ小学生だった息子と、頻りに札幌ドームに通っていた自分にとっても、大変な驚きでした。

「小さなまちの大きな挑戦！」

北広島市が誘致に向けて掲げたテーマの一つです。

様々な課題もありましたが、市民の皆様とともに決してあきらめず、まち全体で取り組んできたことが、今回の内定につながったものと確信しています。

現在は正式決定に向け、様々な課題に各部署横断的に取り組んでおりますが、5年後、夢のある、すばらしい新球場ができるものと信じ、今の苦労はそのためにあると自分に言い聞かせながら、全力疾走で駆け抜けたと思っています。

北広島市一丸となって取り組むべき、ビッグプロジェクトだと思っておりますので、職員の皆さま、よろしく願いいたします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年6月15日（金）
担当者 政策広報課 安田 将人

おはようございます。企画財政部政策広報課長の安田です。

今日は、政策広報課の業務のうち、広報紙の発行についてお話ししたいと思います。市の広報紙は、当時広島村であった時代の昭和9年に発行が始まりました。村から町、町から市になり、市制20年を過ぎた現在では通算で1,000号を超えています。

以前と比べると、編集の方法は変わりましたが、見やすく、わかりやすく、興味を持って読んでいただける紙面にするためにアイデアを出し合って毎回試行錯誤を続けていることは今も変わっていません。

一方で、広報紙の役割は時代とともに変化してきています。自治体の施策や行事などを伝える手段としてだけでなく、近年は住民とのコミュニケーションツールとしての機能がより求められていて、市民の皆さんに情報やご意見をいただきながら、読む方が必要としている事柄をタイムリーに、見つけやすいように工夫して提供する姿勢が大切だと思っています。

市民の皆さんと情報を共有することはまちづくりの基本となりますので、その手法の一つとしてこれからも広報紙の充実を図っていきます。職員の皆さんには、引き続きご協力をお願いいたします。

また、周りに広報紙が届いていないという方や、点字あるいは声の広報をご希望の方がいらっしゃいましたら、政策広報課までご連絡をお願いいたします。

なお、7月からはボールパークに関するコーナーを新設して、情報をお伝える予定です。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員の皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年6月18日（月）
担当者 財政課 佐藤 亮

おはようございます。財政課長の佐藤 亮です。

先日、平成29年度決算がまとまりました。一般会計の歳入は約267億円、歳出は263億円で、新庁舎建設経費などにより、歳出規模は本市の歴史上最大となりました。今回はこの歳出がどのような種類のもので構成されているのかをご紹介します。今まさに分析作業の真最中ですので、28年度の約240億円の内訳をご紹介します。まず、歳出の1番の割合を占めるのが、社会保障制度の一環として福祉的な給付などを行うための扶助費です。これが53億円で全体の20%余りを占めています。社会保障制度の拡充や高齢化の影響により、この扶助費は毎年増加しています。次に多いのが人件費で43億円、また、借金の返済費用である公債費は22億円で、これら3つの費用は、容易に削減・圧縮できない経費として義務的経費と呼ばれています。240億円のうち、約半分の118億円は義務的経費であるわけです。また、その他の支出としては、公共施設の建設・改修等の投資的経費が39億円、各種委託料や消耗品購入等の物件費が36億円などとなっております。

これらの歳出項目の今後の見通しですが、高齢化社会の進展に伴う扶助費の増や、新庁舎の借金に伴う公債費の増、消費税率の改定や、燃料費・人件費などの物価の上昇傾向に伴う物件費の増など、ボールパーク関連経費を抜きにしても、様々な増加要因が想定されております。

ですから、職員の皆さんにおかれましては、このような本市の財政状況をご理解の上、どうか、より一層の経費の節減を念頭におきながら、日々の業務に当たっていただきたい旨、お願い申し上げます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年6月19日(火)
担当者 都市計画課 平川 一省

おはようございます。都市計画課長の平川です。

これから都市計画について、お話しさせていただきます。

まず、都市計画とは、明確な意志を持って、街や都市を作ろうとすることです。

しかし、都市計画法の都市計画に基づく規制手法は、これまで人口が増加する中で、都市化をコントロールし、効率的な都市基盤の整備を実現するため、規制が強く働いて来ました。次に、平成32年度に予定されている、区域区分の見直し、いわゆる線引きの見直しと言われますが、上位計画である、国土利用計画に基づき、北海道の基本的な考えが示されています。そこでは、「北海道は、全国を上回るスピードで人口減少・超高齢社会を迎えると言う大きな時代の転換点であり、様々な都市機能がコンパクトに集積した市街地形成を目指す」とし、市街化区域は将来の都市における人口や産業を適切に収容する規模としています。このことは、市街化区域の拡大は基本的に認めない、都市における人口や産業の動向、急速な少子高齢化の進行といった現象を総合的に勘案する。と言った都市が縮小化する前提の街づくりを基本的な考えとしています。

本市の人口につきましても、平成19年をピークに減少に転じており、それまで外側に市街化区域を拡大しながら進めて来たまちづくりは、当然見直しを余儀なくされ、市街地拡大の事業計画はあるものの、実現にはこのことが、大きなハードルとなっています。

このような状況の中、3.26にはボールパークの内定があり、完成すると、北海道のランドマークとなることや、新しい北広島市として、都市に活力が生まれ、経済構造の再構築、市民生活の向上など、将来の世代に安心して住み、暮らせるまちづくりに向けた、起爆剤になると考えています。

この機会を生かし、将来の都市像を新たに構築してゆくことが、都市計画の大きな課題であり、法による規制に加えて、民間の活動や投資を誘導する、規制と誘導策を一体として講じることが、本市の街づくりに重要だと考えています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいadak大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年6月20日（水）

担当者 総務課 杉山 正一

おはようございます。総務課長の杉山です。

市では、長年にわたり市政の振興に寄与した方、多くの方々の模範と認められる行為があった方の功績や事績をたたえ、感謝の意を表すため、昭和43年の町制施行、平成8年の市制施行の記念日にちなみ、毎年9月1日に表彰式を行っています。

総務課では、表彰事務を担当しており、先月に、市民の皆様や市の各部署から候補者の推薦をいただき、現在、今年度の表彰に向けた準備を進めているところです。

昭和45年の制度創設以来、昨年までに、延べ695の個人、団体が受賞されています。

近年受賞された方の功績をご紹介しますと、市議会議員や町内会長、民生委員・児童委員、老人クラブの会長、各種団体の役員、市の附属機関の委員など、福祉、保健、産業、交通安全、教育、文化などの各分野で長年ご活躍された方や、市への寄附を行った方、人命救助を行った方、ごみステーションや公園、道路、ゴロツケーコースの清掃や草刈り、バス停や消火栓の除雪、花壇整備を行った方、ひとり親の児童や障がいのある児童へ琴や礼儀作法、書道の指導を無償で行った方、幼稚園や福祉施設に訪問し手品や腹話術、歌を披露した方などがいらっしゃいました。

北広島市は、明治17年に広島県人25戸103人が集団移住し、開拓の鉞がおろされてから134年の歴史を積み重ねてきましたが、今の市の姿があるのは、雨の日も風の日も、私たちの生活に関わるあらゆる分野で、市民のため、地域のために、長年ご尽力されている多くの方々がいらっしゃるおかげであると思います。

これらの方々に改めて感謝しながら、まちづくりに携わる者の一人として日々の業務に取り組んでいきたいと思っております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年6月21日(木)

担当者 職員課 佐藤 直人

おはようございます。職員課長の佐藤直人です。

今日は、公務災害や通勤災害についてお話しします。

公務災害とは、職員が任命権者の管理下において公務に従事しているときに受け、公務に起因するものとして認められた労働災害のことを言います。通勤災害は通勤時に受けた災害を言います。

公務あるいは通勤での災害については、これまでも職員課からの注意喚起のほか、各職場においても職場環境の整備を行ったり、作業手順の確認や職員同士で声かけを行うなど、安全に配慮した取り組みを行っていると思われませんが、残念ながら毎年発生している状況にあります。

公務災害の内容としては、消防、保育園、学童クラブなど現場での活動中の災害もありますが、ここ数年、公務での作業上というよりは、ほんのちょっとした不注意による災害が増加傾向にあります。「急いでいた」、「ほかのことを考えて集中していなかった」など原因は様々だと思われませんが、注意を払えば防げた内容が多いように感じます。公務災害の場合には、法律等で療養費などが補償されますが、仕事はもちろん日常生活にも影響を及ぼすこととなり、自分だけでなく周りにも迷惑をかけてしまいますので、十分に注意していただき、事故のない健康で明るい職場にしていきたいと思えます。

万が一、公務中あるいは通勤中に災害を被った場合には、ただちに所属長へ報告するとともに、公務災害の認定請求や療養費の支払いに関して病院との調整などを行う必要があるため、職員課への報告も忘れずに行ってください。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年6月22日（金）
担当者 行政管理課 安田 寿文

おはようございます。行政管理課長の安田です。

行政管理課では、今、何かと話題となっています公文書の管理について、今年度、重点的に取り組むこととしており、庁舎別館の改修工事終了後に、フレンドリーセンターに保存されている文書を順次、移管する予定としております。それに合わせ、移管後は、保存文書がどの棚のどの箱に保存されているか、データで検索できるよう現在準備を進めており、これにより、保存文書を探す時間等が大幅に短縮されることになるものと思います。また、平成28年度より新たな公文書管理方法として導入しましたファイリングシステムの更なる定着と公文書管理の重要性について理解をしてもらうため、今年度も実施指導と研修会も行う予定としております。

市の情報公開条例において、公文書の公開は、「市政に関する情報について市民の知る権利を保障し、市政の諸活動について説明する責任を負う」と規定しており、公文書は、行政が効率的に運営されるようにするとともに、市の諸活動を、現在及び将来の市民に説明する責務を果たす為にも、公文書を適切に管理していかなければなりません。「公文書は行政だけではなく、市民共有の知的資産である」ということを、今一度、職員一人ひとりが認識し、適切な管理に務めるようお願いいたします。

最後に私事になりますが、3月中旬から約1か月間、病気治療のため、休暇をいただき、その間、多くの皆さんにご迷惑、ご心配をおかけしましたことを、この場を借りて、お詫びと感謝を申し上げます。健康という裏付けがあってよい仕事ができます、みなさんも、健康には十分留意していただきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年6月25日（月）

担当者 秘書課 福田 誠

おはようございます。秘書課長の福田です。

今日は秘書課の業務について、少しお話をさせていただきます。

秘書課の主な業務といたしましては、理事者が参加する会議や行事、来客対応、打合せなどの日程調整のほか、市長車・連絡公用車の運行管理、市長の随行など日々行っております。ちなみに、今年度の4月に理事者が参加した会議や打合せ、来客対応の件数は合計で163件ありました。

会議や打合せについては、内容や終了時間を確認したり、移動を必要とする場合には所要時間を予測したりして、日程調整を行っております。調整は3人の秘書課職員で行いますので、情報を共有しながら日程が重ならないようになど注意しながら対応しております。

来客対応については、応接室や市長室、副市長室で行いますが、座席数が決まっておりますので、お客様や同席する職員の人数も重要となります。また、お越しいただくお客様によっては到着時間を確認して、お出迎えやご案内などの対応もさせていただいており、お客様に失礼のない対応をするために、日程調整の連絡をいただいた場合には、日時のみではなく細かいことまで確認させていただいております。

ミスなく業務を円滑に進める上で、情報共有と事前確認は大変重要であると考えております。今後も日程調整の関係などで、皆様に確認などのご連絡をさせていただくと思いますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年6月26日（火）

担当者 税務課 林 正明

おはようございます。税務課長の林です。

私事ですが、最近車を買いました。納車がお盆過ぎ頃と言われているので、夏休みをきちんとお盆に取るか、車の納車に合わせるべきか、かなり思い悩んでいるところです。

さて、車を買うと、付いて回るのが保険とガソリンと税金。支払総額の内訳を見ると、自動車取得税、自動車重量税、自動車税、そして消費税などなど、国や北海道の税金がいろいろかかっているのが分かります。これが支払総額に対してどれぐらいの割合かを興味本位で計算してみたところ、約11パーセントを占めていました。

このうち、道税の自動車税については毎年かかることにはなりますが、自動車税部も別棟で事務所があるぐらいですから道税収入的にはウエイトが高いのかと思いきや、北海道の予算概要を見ると、道民税、法人道民税、地方消費税などが軒並み1,300億以上の予算額であるのに対し、自動車税は予算額771億円で、道税収入における構成比では約13パーセントでありました。

本市の一般会計の市税収入における税目の構成はというと、多い方から、固定資産税、市民税、都市計画税、たばこ税、軽自動車税などとなっており、車関係の税金である軽自動車税は、予算額が約1億円、市税収入における構成比は約1.3パーセント程であります。割合的には固定資産税と市民税で約85パーセントを占め、市税収入の柱となっており、今後もこの2税の位置は揺るがないものと思われま

す。

北海道と本市では予算規模も税目の構成もまるきり異なりますので単純比較とはなりません。こうして見比べてみるのも、たまにはおもしろいかもしれません。

市税収入については、過去5年の決算を見ると、ありがたいことに毎年度少しずつ収入額が増えています。

とはいえ、今後、不況や自然災害などの影響で経済情勢が不安定になり、思うように収入の伸びないことがあるかもしれません。そういったことも念頭に置き、限られた財源の中で、コスト意識を持って業務にあたるよう努めましょう。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年6月27日（水）
担当者 危機管理課 荒川 亨

おはようございます。総務部危機管理課長の荒川です。

スピーチの前に、去る6月18日に発生しました大阪北部を震源とする地震により、お亡くなりになられた方々のご冥福を謹んでお祈り申し上げますとともに、被災された方々には、心よりお見舞いを申し上げます。

また、被災地の一日も早い復旧と復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、私からは、災害心理と呼ばれるもののうち、正常化の偏見と過大視の偏見についてお話させていただきます。前者は、どんなに危険であると認識していても、そのような非日常的なことは自分には降りかからないとする考え方。後者は、一旦、何らかの被害にあった後に、過剰に不安を感じる考え方です。

例えば、大切なデジカメやスマホのデータが消えてしまったときに、それまでデータが消えるはずがないと思っていた方が、急にデータの複製を残すようになるようなケースです。しかし、ほとんどの場合は、また複製を残すのをやめてしまいます。正常化の偏見は何らかの被害に遭うと過大視の偏見に移行しますが、それは長くは続きません。

さて、地震の際に亡くなる方の多くは、津波や大規模火災といった特殊な要素を除けば、初めの揺れでタンスや本棚の下敷きになった方だと言われています。ある講演会で講師の方が、非常持出袋を用意している方の多くは、最初の揺れで自分は死なずに避難できると考えているのだから、せっかくの用意を生かすためにも、例えばタンスや本棚を避けて寝床を用意するなどの初動で被害に遭いにくい対策が取れていないのであれば片手落ちであると言っていました。防災にベストの方法はなく、自分にとってのベターは自分が考えなければなりません。

さて、9月2日に、5年に1度の総合防災訓練を実施いたします。訓練にご参加いただく方には、各々の役割について、作業をただこなすのではなく、その作業が何の役に立つのか、何のためにやっているのか、その理由を考えながら訓練に参加していただければと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年6月28日(木)
担当者 参事(防衛担当) 杉本 雅弘

おはようございます。防衛を担当しております参事の杉本です。本日は昨年に引き続き、私の業務についてお話をさせていただきます。主な業務は、防衛補助事業の事務手続き等に関する連絡調整業務です。

ご参考は何故、本市が防衛補助を受けることができるかと言いますと、市の三島方面に所在しております。陸上自衛隊北海道大演習場により生じる騒音等(障害)の緩和を図るため「防衛施設周辺的生活環境の整備に関する法律」に基づき、適用補助項目を受けるため防衛省へ補助申請等を行なっているからです。なお、補助金の事業採択には、国の会計制度上早くて2年程期間が必要です。補助率は他の国の補助金等と比較しても高率でありますので、本市の財源の確保等の観点から国の補助金を有効に活用するため、各種の事業計画を進めているところです。今年度の事業は、道路の補助事業で行っている輪厚中央線・輪厚三島線を行っており全体事業費8億2千万円の内6億円が補助金です。更に、消防の高規格救急車、公園整備、小学校のボイラー復旧工事等を行う予定です。なお、他の自治体も同様に活用しております。

また、補助金とは別に特定防衛施設周辺整備調整交付金を本市は毎年約1億円以上の交付を受けて、市内の道路整備学校等に活用しながら市民生活環境の整備をしております。なお、他の自治体では基金化しながら活用をしております。私は、これらの業務を円滑にすすめるために、補助金交付官庁の北海道防衛局と事業計画、事業執行及び会計検査等の連絡調整等行っておりますので、補助を検討される場合はお気軽にお話に来て下さい、お待ちしております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 平成30年6月29日（金）
担当者 総務部派遣課長 花田 秀樹

おはようございます。総務部付課長の花田です。

私は、4月から新千歳空港近くの千歳市環境センター内に事務所がある道央廃棄物処理組合という一部事務組合に派遣職員として勤務しています。

この組合は、北広島市のほか、千歳市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町の2市4町で組織し、廃棄物を共同処理するための焼却施設を平成36年度からの施設稼働に向けて、業務を進めているところです。

組合事務所に勤務する職員は、組合を構成する千歳市から4人、栗山町から1人、北広島市からは、櫻井次長、工藤主査、私の3人が派遣職員と、臨時職員を合わせた計9人で業務を行っています。

派遣後、約3カ月が経過し、構成する千歳市や4町を訪問し、業務説明など行う機会が何度かありました。そのなかで、各自治体の議員や担当職員の方々とあいさつを交わす際、殆どの方々に「ボールパーク誘致おめでとうございます！」という、ありがたい言葉を皆さんからいただきました。この誘致決定は、周辺自治体の皆さんにとっても大変関心の高いものだと改めて感じました。

これからは、ボールパーク構想の実現に向けて、限られた期間のなか、インフラの整備や関係機関との協議など、ひとつひとつの課題の解消に向かっていかなければならないと思いますが、職員が一丸となって頑張りたいと思います。私も空港のそばで応援しています。

私が担う業務も、平成36年度に焼却施設稼働という限られた期間の中、この目標の実現に向かい、派遣職員同士が一丸となり、ひとつひとつの課題を乗り越え、進めていかなければならないと考えています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。